

やまだ防災だより

第6版 令和4年11月1日
発行・編集
山田町総務課 危機管理室
0193-82-3111
内線415、429

岩手県地震・津波被害想定調査の結果が公表されました

県では、県内における最大クラスの地震・津波被害の全容を把握し、減災対策につなげるとともに、防災教育の推進や防災意識の啓発に活用するなど、今後の津波防災対策に生かしていくため、地震・津波被害想定調査を実施し、その結果を令和4年9月29日に公表しました。公表内容は県ホームページをご確認ください。

調査の概要

本調査では、マグニチュード9クラスの地震として、「日本海溝（三陸・日高沖）」、「千島海溝（十勝・根室沖）」、「東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）」の3つの地震モデルを対象としています。

地震が発生する時間帯は、「冬・深夜」、「夏・昼12時頃」、「冬・夕18時頃」の3つのケースを想定し、令和2年度末時点の整備状況を反映させた地形データを用いて、地震による構造物（防潮堤など）の沈下が発生し、津波が越流した時点で破堤するものと想定しています。

「すぐに避難」で犠牲者ゼロに

本調査では、多くの犠牲者が出ると想定されていますが、本町では地震後すぐに避難を開始した場合は、死者をゼロにすることも示されています。そのために一人ひとりの避難意識の向上が必要不可欠です。

災害による犠牲者を出さないためにも、日頃から家具の転倒・落下防止、避難場所や非常持ち出し品の確認、低体温症防止のための防寒着の準備など、身の回りのできる防災対策を心掛け、迅速な避難行動が行えるようにしましょう。

防災情報配信サービス相談会を開催

町では、防災行政無線の内容をお知らせする「いわてモバイルメール」や避難に必要な防災情報配信サービスの登録、設定方法の相談会を開催します。これまで登録方法や設定方法が分からず、お悩みだった方はぜひご来場ください。

◆日時 令和4年11月5日（土）
午前9時半～正午、午後1時～3時

◆場所 まちなか交流センター
午前：3階多目的室
午後：2階交流スペース1

◆内容 防災情報配信サービスの登録方法、設定方法のご案内

◆対象サービス ▶いわてモバイルメール▶気象庁キキクル及び通知アプリ▶県土砂災害警戒情報システム▶県避難所マップ▶Yahoo!防災速報▶東北電力ネットワーク停電情報——などを予定



被害想定概要

本調査では、建物、人的、ライフライン、交通などにおける被害想定をシミュレーションしています。本町では、地震による最大震度は日本海溝モデルによる震度6弱とされており、津波による死者は東日本大震災クラスが最も多く、「冬・夕18時頃」で約280人と想定されています。

◆人的被害の条件設定（抜粋）

(1) 避難行動別の比率

- すぐに避難する（直後避難）…54%
- 避難するが、すぐには避難しない（用事後避難）…40%
- 切迫避難あるいは避難しない…6%

※比率の設定は、東日本大震災の実績による

(2) 避難開始時間（地震発生から避難開始までの時間）

	直後避難	用事後避難
昼間	5分（冬季7分）	10分後（冬季12分後）
夜間	15分（冬季17分）	20分後（冬季22分後）

より早く、より高く！
直ちにより高い安全な場所を目指して避難しよう



11月5日は広く津波対策についての理解と関心を深めるための「津波防災の日」として「津波対策の推進に関する法律」により定められています。この日は、嘉永7年/安政元年11月5日（太陽暦では1854年12月24日）の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れている人々を高台に避難させて救った濱口梧陵氏の逸話にちなんだ日です。この逸話をモデルに「稲むらの日」の物語が作られました。

県が新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を公表

県では、全国的に土砂災害警戒区域外において土砂災害が発生している状況を踏まえ、高精度な地形情報を用いて、新たに「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を公表しました。本町では、現時点で197箇所が抽出されています。

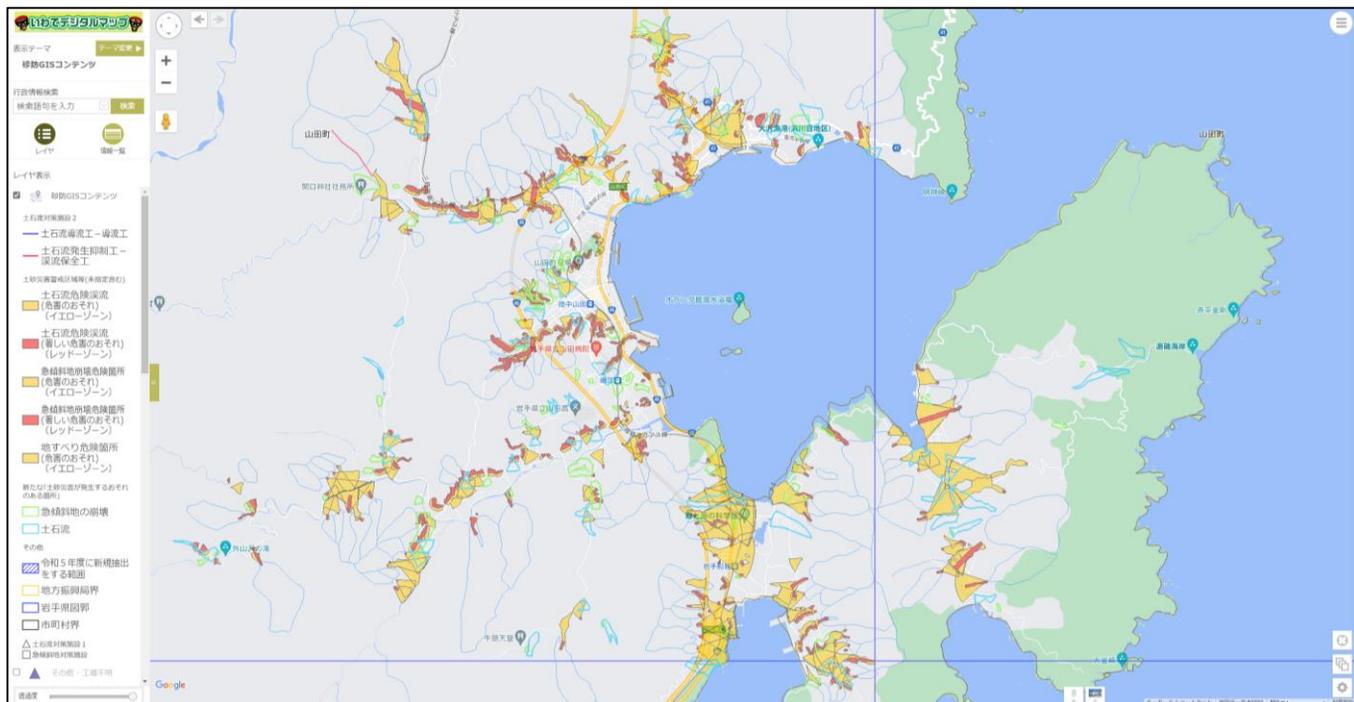
抽出した「箇所」は、岩手県ホームページや「いわてデジタルマップ」から閲覧できるほか、役場及び最寄りの広域振興局土木部でも閲覧できます。

お住まいの地域周辺の「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を確認し、大雨時などの避難にお役立てください。

公表の背景

- 平成30年7月豪雨において全国で発生した人的被害を伴う土砂災害のうち、約2割が土砂災害警戒区域外で発生
- 令和元年東日本台風（台風第19号）では、県内で発生した土砂災害98箇所のうち18箇所が土砂災害警戒区域外で発生
- 近年の土砂災害の発生状況を踏まえ、国は令和2年に「土砂災害防止対策基本方針」を変更しており、今後は、高精度な地形情報を用いて土砂災害が発生するおそれのある箇所の抽出に努めるとされた。

◆いわてデジタルマップ（参考）



・いわてデジタルマップ（砂防GISコンテンツ）

新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」のほか、土砂災害警戒区域も確認できます。

・岩手県砂防災課ホームページ

新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の公表に関する概要や市町村別の箇所数など確認できます。



◆問い合わせ

町総務課危機管理室（内線415）
建設課土木係（内線232）
宮古土木センター ☎64-2221